

アントニン バイオリン



Antonín Mrazek

アントニン・モラベツ

1928年生れブルノー音楽大学助教授でありチェコバイオリン界の若い世代に属する優れた代表者の一人である。古典及び現代作品に対する演奏解釈は高く評価され、広く名声を得ている、又定期的に独奏者としてラジオ放送に出演しチェコスロバキアの全ての交響楽団と共演する他、室内楽、三重奏団の一員としても際立った活躍を見せ外国のコンクールへの参加に対しては1950年ブラーグ1951年ベルリン1957年ポズナン市でそれぞれの国から賞を与えられている。1958年ブルノー市での演奏会における彼の示したレオシュヤナーチェックに対する作品解釈は最もすぐれたものとして高く認められた、彼はポーランド、ドイツ、ルーマニア、オーストリア等に演奏旅行を行い、彼のバイオリニストとして経歴が素晴らしいものである事を立証している。

山陰労音

本 荘 玲 子

昭和11年10月4日東京に生れる。10歳の時よりピアノを寺西昭子氏に、19歳より井口基成、秋子氏に師事。子供のための音楽教室桐朋学園高校音楽科並びに短大を卒業。

第24回毎日音楽コンクール第3位に入賞。第5回文化放送音楽賞受賞。現在NHK交響楽団団員である。彼女は豊かな音楽性と秀れたテクニックの持主であり、時には現代音楽の演奏の時のオーケストラやアンサンブルでは、常に主要な役割を受持ち、その特性を広く評価されている。

